



犬山営業所 課長 **津藤 誠**

「様々な営業所で勤務された経験があるそうですが、特に印象に残っている営業所はありますか。」

これまで犬山営業所を含めて5か所で働いたことがあるのですが、そのうちのひとつである半田営業所は、半田市にある本拠地とは別に、豊明市にも営業所の一部があります。お客様の依頼に即座に応えるため、お客様の会社内につくられた出張所です。私はその豊明市の出張所の管理者として、2年半ほど常駐していました。人手は多くなかったため、フォークリフトの運転や荷物の準備などは私も参加します。急な依頼があれば、私自身がトラックを運転して運ぶこともありました。もともと運転が好きだったので、急な依頼も苦ではなく、むしろ楽しみでしたね。

「現在の業務内容と、仕事のやりがいを教えてくださいませんか。」

主な仕事は営業所の管理で、アルバイトや契約社員も含めた従業員35名の管理業務をしています。やりがいは、利益が増えていく様子を見られることでしょうか。努力が数字という目に見える結果につながるの嬉しいものです。

と声掛けをしていました。

ほどなくスタッフの人数が増えて状況は改善されましたが、今にして思うと、もっと上司や会社に相談すればよかったと思います。自分でなんとかしたいという気持ちが強いため、仕事を抱え込んでいました。この経験があったから、積極的に人に頼るようになっていきます。

「今後の目標などがありましたら、教えてください。」

この先も、依頼はできる限り断らないようにしていくつもりです。急な依頼というものは、急がなければならぬほど重要な荷物ということですから、それだけ南星キャリアックスの力を必要としているのだと思っています。とはいえ、社員に無理を強いてしまうことは避けなければなりません。

ん。安全運転を最優先に、お客様の気持ちにも応える。課長として、このふたつを両立できるように気をつけていきたいと思っています。

「犬山営業所で、これからどのように働いていきたいと思えますか。」

2020年4月から新しい所長代理を迎え、新体制になりました。所長代理は、以前から犬山営業所で働いている気心の知れた方です。課長として所長代理をサポートし、利益を出せるように邁進していきます。

お客様と社員の両方を思う津藤さん。新しい所長代理を支え、全員がやりがいを持って働ける営業所を実現していくことでしよう。

急いでおかげで、時間に余裕を持って目的地へ到着しました。お礼の言葉を聞いた時の達成感は、これまでに感じたことのないほど大きなものでした。

「働いていてつらかった時期はありますか。」

人手が不足している営業所をまとめなければいけない時は大変でした。日々舞い込んでくる仕事をこなさなければならぬ責任と、余裕のない社員にさらなる仕事をお願いしないといけない罪悪感との板挟みで、つらい時期を過ごしたものです。ただ、ありがたいうちに社員たちは焦りながらもなんとか仕事を処理しようとして、前を向いて働いてくれました。私は管理者として一人が仕事を抱えすぎないように、「仕事はあとどれくらい残っている？」など



半田営業所時代には、夕方頃に「明日の朝、山口県にドラム缶一本を届けてほしい」と依頼を受けたことがあります。これまで一番遠い配達先でした。荷物の準備を終えて出発したのは深夜0時で、社用車を走らせ到着したのは朝7時半。安全運転を心掛けてつ